

市政の動き

12月定例会報告 市長総括説明から

11月28日、令和7年第7回豊岡市議会定例会が開会しました。

開会にあたり市長が総括説明を行い、当面する市政の諸課題および提出議案などについて説明しました。その中から主な内容をお知らせします。

なお、市長総括説明の全文について
は、市ホームページをご覧ください。



安全に安心して暮らせるまち ■公立豊岡病院組合の経営状況 およびドクターヘリの運航

公立豊岡病院組合の2024年度収支決算は、12.5億円の大幅な赤字となり、経営の貯蓄にあたる資金「内部留保資金」はマイナス2億円となりました。さらに2025年度は、20.7億円の赤字で「内部留保資金」はマイナス25.4億円が見込まれ、極めて厳しい経営状況であると伺っています。

豊岡病院は、診療材料の切り替え費用節減など経営改善に取り組まれていますが、赤字の原因として、人件費や材料費の上昇が顕著であり、公定価格である診療報酬がコスト上昇に対応できていないことがあげられます。

市は、公立病院の財政支援について国や兵庫県に要望を続け、今後の経営のあり方や財政支援などについて、豊岡病院組合と協議を重ねていきたいと考えています。

また、ドクターヘリの運航については、関西広域連合管内において、運航委託先法人の操縦士、整備士不足による運航停止が継続的に発生しており、次年度から事業規模を急激に縮小せざるを

得ない案が示されています。

但馬地域において、安定的な救急医療体制が維持できるよう、兵庫県に対し、要望しています。

持続可能な「力」を高めるまち

■市営住宅を活用した子育て世帯などへの住宅支援

市営住宅は、住宅に困窮する低所得者に提供していますが、空きが生じている住宅の有効活用が課題となっています。

一方で、少子化・人口減少に対応した子育て支援策をより一層強化する必要があると考えています。

こうしたことから、入居率の低い市営住宅の一部を、子育て世帯や若者夫婦世帯に低廉な家賃で提供することとしました。

これに併せて、市営住宅の入居要件である収入基準を緩和して入居可能範囲を拡大します。

■空き家対策

空き家の増加は深刻な課題であり、早期の対応、空き家になる前段階の「空き家予備軍」への対応が求められています。

今年11月、但東地域では、地域内の企業・住民・行政・コミュニティ組織が参画する官民共創組織「たんとう未来会議」が、啓発アクションブック「その空き家どうする？」を発行しました。マンガ形式で分かりやすく、家族で住まいの将来を話し合うきっかけを提供する内容となっています。

また、竹野地域でも、昨年度「NPO法人だけのかぞく」に委託してパンフレットを発行し、地元への説明会を開催しています。

市は、こうした地域発の取組みを市民の皆さんと共に進めながら、より効果的な空き家対策を検討していきます。

未来を拓く人を育むまち

■こども誰でも通園制度の実施

国は、全ての子どもの健やかな育ちを応援し、良質な成育環

境を整備することで、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため「こども誰でも通園制度」を創設しました。

これを受けて、市は、市民の皆さんの多様な子育てニーズに応えるため、制度を最大限に活用し、2026年度から実施します。

制度の内容は、0歳6ヶ月から3歳未満の未就園児が、月に一定時間の利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わず、時間単位などで柔軟に保育所などを利用できるというものです。

市政の運営

■新しい市民共創の取組

「シビックとよおか」と「ちいき×エール」

市は「人と地域に寄り添う市政の推進」として、市役所と日頃関わりの少ない方や利害関係のない方も含めた「より多様な市民」の声を広く聴き、市政に活かしていきたいと考え、デジタルと対面ワークショップの両輪による新たな市民共創事業に取り組みます。

デジタルについては、場所や時間にとらわれず、意見やアイデアを投稿できるオンラインウェブサイト「シビックとよおか」での意見募集に11月から取り組んでいます。現在、第3期地方創生総合戦略に生かす市民意見を募集しているほか、12月からは市役所窓口の開庁時間短縮の試行に対する意見も募集する予定です。

対面による取組みとして、幅広い市民の皆さんとの意見を直接伺うためのワークショップイベント「ちいき×エール」を開催します。市役所が地域などに出向き、テーマを提示し、市民参加者の皆さんと共にワークショップ形式で意見やアイデアを出し合う場となります。

本年度は12月に日高地域、3月に但東地域で開催予定です。

市議会役員が決定 議長は浅田 徹さん、副議長は清水 寛さん

11月14日、市議会臨時会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に浅田 徹さん、副議長に清水 寛さん、議会選出の監査委員に竹中 理さんがそれぞれ選ばれました。なお、各委員会の委員長(○)、副委員長(○)は次のとおりです。
(以下、敬称略)



議長
浅田 徹



副議長
清水 寛



監査委員
竹中 理

■常任委員会

▷ 総務委員会

◎芹澤正志 ○太田智博

▷ 文教民生委員会

◎石田 清 ○小森弘詞

▷ 建設経済委員会

◎森垣康平 ○前田敦司

▷ 予算決算委員会

◎清水 寛 ○芹澤正志
◎石田 清 ○森垣康平

■特別委員会

▷ 議会広報広聴特別委員会

◎前田敦司 ○須山泰一

▷ 人口減少対策調査特別委員会

◎西田 真 ○荒木慎太郎

▷ 防災対策調査特別委員会

◎義本みどり ○中尾浩二

■議会運営委員会

◎岡本昭治 ○福田嗣久

《問合せ》議会事務局

☎23-1119

市政ニュース

～主な市政の動き～

【11月】

14日

・市議会臨時会

16日

・市制20周年記念式典

21日

・ツキノワグマの緊急銃猟を想定した訓練

28日

・豊岡市議会12月定例会(～12月24日)

29日

・中央公園 スケートボード広場、ボール広場
オープン

【12月】

1日

・除雪隊発隊式

3日

・神鍋冬山開き



中央公園をリニューアル 安全なスケボー場とバスケットコート拡充へ

11月29日、中央公園(通称SL公園)にスケートボード広場とボール広場が完成し、利用が始まりました。市民体育館の跡地活用を含む公園再整備の一環です。スケートボード広場は、愛好者でつくる「トヨオカセン・トランプ実行委員会」の意見を取り入れ、安全性を確保し、戸牧川西側に新設しました。また、市民体育館の跡地には、ボールが外に出ないようフェンスで囲まれた3x3バスケット

ボールコートが2面完成し、多くの人が利用しやすくなりました。

門間市長は「中央公園が世代を超えて、さまざまな人々が集い、交流し、未来へつながる場となることを望みます」と、引き続き憩いの場になるよう期待を寄せました。



▲初心者から上級者まで楽しめる6基のセクションが設置されている



《問合せ》 都市整備課
☎23-1712

ブリッジメンバー企画 事業所見学会を初開催

11月26日、豊岡市ワークイノベーション推進会議「ブリッジメンバー」の企画で東海バネ工業株式会社の事業所見学会を開催し、16事業所から29人が参加しました。会員事業所から「学び合う機会を広げてほしい」との声を受けて実現しました。同社は2024年度にあんしんカンパニーを受賞。専務取締役の坪口幸弘さんから、誰もが働きやすく働きがいがある職場づくりに向けた取組みを聴き、工場でばね製造の

工程も見学しました。経営層と従業員のトークセッションでは、テレワークや人事評価制度、女性管理職登用などの質問も多数あり、参加者にとって学びと情報交換の貴重な機会となりました。

ブリッジメンバーは、今後もジェンダーと世代を超えた交流を促進します。

*ブリッジメンバー…会員事業所の若手経営者・従業員10人で構成する企画委員会。

市ホームページ▶



▲トークセッションでは東海バネ独自の「委員会・プロジェクト活動」など、皆が教え合う仕組みについて参考にしたいと意見が出た

《問合せ》 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
☎21-9004

市役所の窓口受付時間を変更しています

12月1日(月)から 9:00～16:30

■対象施設

本庁舎、立野庁舎、各振興局、上下水道部事務所(水道お客様センターは対象外)、消防本部(総務課、予防課のみ)

《問合せ》

DX・行財政改革推進課
☎21-9146



*マイナンバーカード時間外窓口を開設しています(要予約)。

*詳細は23ページを確認してください。

《問合せ》

窓口サービス課
☎21-9015



ご理解とご協力を
お願いします

